



海東スクラム



海東小学校学校便り

令和8年8月28日

文責：校長 松出 直子

学校再開に向けての取組

PTA・三重県学校支援チームの協力のもと

本地震から約1カ月。海東小学校では、学校再開の前に「学校で過ごす2日間」を実施しました。久しぶりに学校に集まった子どもたちの表情には、笑顔と安心した様子があふれていました。

始めに、PTA会長の西村さんが子どもたちへ語られた「みんなが無事でよかった。本当にありがとう。」という言葉は、子どもたちだけでなく職員の胸にも深く響きました。私たちはこれまで、友達と会えること、一緒に学べること、笑い合えることを当たり前と思って過ごしていました。しかし、それらは決して当たり前ではなく、多くの人々に支えられていることへの感謝を改めて感じる2日間となりました。

学校・教室探検

地震の後、「学校はどうなっているの?」「教室は大丈夫なの?」という保護者や子どもたちの不安の声が聞かれました。

そこで、学校再開の前に「学校・教室探検」を行いました。子どもたちは担任の先生と一緒に校舎や教室を回り、学校の様子を確かめました。そこには、いつもと変わらない教室や先生方の笑顔がありました。久しぶりに友達と顔を合わせる姿も見られ、学校再開への安心感につながる時間となりました。

三重県学校支援チームとの交流

三重県学校支援チームの先生方（立岡先生、一路先生）と、貨物列車のゲームやレクリエーションを楽しみました。立岡先生の進行で、子どもや先生方、保護者の方と肩を並べ、声を掛け合いながら活動する中で、子どもたちの心も少しずつほぐれ、みんながひとつの輪となつてつながる時間となりました。

また、楽しい絵本の読み聞かせもしていただきました。一路先生の語りに引き込まれ、思わず「ふふっ」と笑いがこぼれる場面もあり、会場は温かな笑顔に包まれました。

地震後の不安な気持ちを和らげ、友達や先生とのつながりを感じることのできる、かけがえのない時間となりました。



会長・学校長より子ども達へのメッセージ



学校探検の様子（学校はだいじょうぶだよ）



三重県学校支援チームの方とゲームを楽しむ様子（海東貨物列車・絵本の読み聞かせ）



学校再開に向けての取組

PTA主催ビンゴ大会

PTA主催のビンゴ大会では、学童の前田先生方や三重県学校支援チームの先生方が進行を務めてくださいました。ビンゴになった子どもたちは、自分の好きな飲み物やお菓子を選ぶことができ、大喜びでした。そんな中、ある男の子がぼつりと、

「ゆめのようだな」

とつぶやいた言葉がとても印象的でした。

お菓子や飲み物の準備は、西村会長をはじめ、ゆいなさん、みなとさんがどんなお菓子がみんな喜びそうかセレクトし心を込めて準備をしてくださいました。

子どもたちはちきりんばかりの笑顔や、「ゆめのようだなあ」という素直な一言に、会場にいた大人たちも幸せな気持ちでいっぱいになりました。

ゆっくり過ごした2日目

三重県学校支援チームの先生方やPTA会長、職員とともに、宿題やゲームなどをしながらゆったりとした時間を過ごしました。始めに、みんなでハンカチ落としを楽しみ、大きな笑い声が響きました。その後宿題に取り組み、集中する子ども達の姿も見られました。宿題の後は、カードゲームをしたり、オルガンを弾いたり、それぞれが自分の好きなことを見つけ、思い思いの時間を過ごしていました。

久しぶりに友達や先生と過ごす時間の中で、子どもたちは少しずつ笑顔と安心を取り戻しているようでした。学校には穏やかで温かな空気が流れ、一人一人にとって心がほっとする時間となりました。当たり前の日常が決して当たり前ではないことを胸に刻みながら、子どもたちの笑顔あふれる学校生活の再開に向けて、これからも学校・家庭・地域が「スクラム」を組み、歩みを進めてまいります。協力いただきましたPTAの皆様、地域の皆様、そして三重県学校支援チームの皆様により感謝申し上げます。



PTA主催 ビンゴゲーム（自分の好きなおやつをゲット◎）



PTA主催 おやつでほっとタイム



二日目は宿題やハンカチ落とし、やりたい遊びを思い思いに楽しんで☆彡）

参加できなかったみなさんへ

今回は急な呼びかけでもあり、ご都合がつかず参加できなかったご家庭もあったと思います。PTA会長の西村さんは、「参加できなかった子どもたちにも笑顔を届けたい」という思いから、全児童分のお菓子を準備してくださいました。当日参加できなかった子どもたちにも、始業式の日にはプレゼントをお渡しする予定です。PTAの皆様温かな心遣いに、心より感謝しています。